



発行 中里の家 館山市中里228-1番地  
☎0470-28-2022

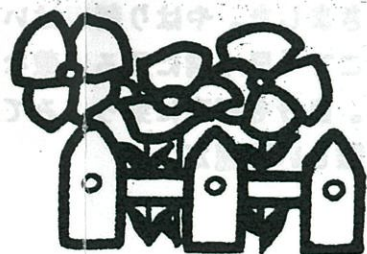
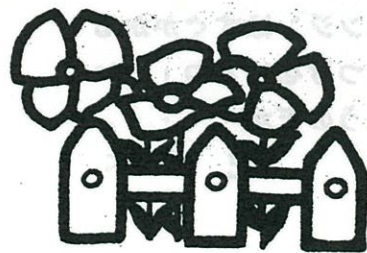
### 1年間を振り返って

桜の便りも聞かれる今日この頃であります、「中里の家」では、開設以来1周年を迎えようとしております。

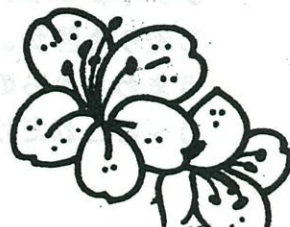
園生たちは、咲きほこる花のように元気一杯に過ごしてまいりました。

1年間を振り返ってみますと、いろいろなことがありました。施設からみますと試行錯誤の連続だったような気がしますが、なにはともあれ大禍なく過ごせた事を喜んでおります。園生並びに保護者の皆様にも、一応はご納得いただけたものと自負しております。しかし私達は無事に過ごせたことだけで満足しているわけにはまいりません。厚生施設の目的をふまえて、さらに充実した処遇向上に努めてゆかなければならないと考えております。

4月からは新年度となります。2年目を迎えて、施設運営の基本的な方針も定まりました。次の機会にお知らせできと思いますが、職員一同、心を新たに充実した生活を展開してゆくことを誓っております。皆様にも、ご提言等ありましたら、ぜひお寄せ下さる様お願い致します。



施設長

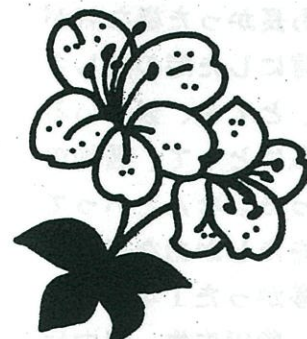


### ボーリング大会

「やった。やった。たおれた、たおれた」とはずんだ声が拍手とともに。「あっ、しまった」と無念の声、様々な歓声が会場にあふれました。ボーリングは初めての経験という園生がほとんどだったと思います。私たち職員も大丈夫かしらといった不安で臨みました。足にボールを落としてけがをすることはないかしらといったこちらの心配をよそに園生は重いボールを思い思いに一生懸命投げていて、その姿はとてすばらしかったです。保護者の皆様もお子さんと一緒にボーリングを楽しむのは初めての方が多かったのではないのでしょうか。私、できるかしらと尻ごみしていたお母さん方も一緒に楽しむことができたのではないかと思います。

園生には何事も経験することが大切であると思います。ご協力よろしくお願いいたします。

記 鎌田よ、加藤ま



佐野事務長有難うございました

昨年の四月、出来たばかりの施設にまず職員が来ました。そして、入所者とその保護者が来ました。すべてが未知の世界であり、不安とあわただしさの中で、中里の家の生活が始まりました。

そして、今年が無事過ぎようとしています。施設はもちろん社会福祉についても何も知らないと言う事で、多くの人に迷惑をお掛けした事と思います。しかし、私はこの施設でいろいろと教えられました。入所者達の澄みきった純真な心には、ほんとうに心をうたれ、保護者の方々には、かわいいお子様を施設に預ける希望と不安の入り交じった心情を、又、施設長をはじめ職員の方々の日夜の努力等、ほんとうに御苦労様です。

一年間という約束で派遣されましたので、四月には館山市に戻る事になりますが、この一年、未熟者のため、至らぬことが多かったと思いますが、皆様の御協力で無事過ごす事が出来ました。本当にありがとうございました。今後も同じ市内におります。今までと同様精一杯協力するつもりでおります。これまで以上のお付き合いをお願い致しますとともに、「中里の家」のますますの発展を願っております。

佐野事務長

### 1年目を振り返って

家の近くの桜の花が、チラホラふくらみ始めました。私もこの仕事をさせていただいて早や1年がたとうとしています。そして、この仕事の重大さ、責任の重さを痛感させられた1年間でありました。何気なく過ぎている日々の中で待ち受ける危険に対する配慮の大切さを知らされ何事にも最善の注意をはらって対処していかななくてはならないことを知りました。

優しい思いやりのある人間は他人から感謝されます。そしてそれは、人間が生きていく上でもっとも大切なことではないかと思えます。常に初心にかえり、優しい思いやりをもって園生の暮らしを大切に、より豊かに暮らせるように努力していきたいと思えます。

記 内田

### 1年目を振り返って

この一年長いようで短かったし、短いようでとても長かった様な気がする。昨年の今頃、1年生が、ピカピカのカバンを背にした時の嬉しさもあるが、不安さと又ズッシリとした重さ。なぜか、とても、似ているように思った。病院経験はあっても施設経験のない私にとって、最初のは「1年無事に回ってくれたら……。」ただそう思った。なんといつて言葉にして的確に訴えられない。観察しながら訴えをたしかめなければならない等難しさがあった。迷ったり、悩んだりの多かった1年。とてたくさんの人達にもお世話になった。囑託医である、柴田先生、協力医の先生方、看護婦さん。顔をあわせると「頑張ってるね」と微笑んで声をかけてくれた人達。心から感謝いたします。昨年の今頃を思い出しながら、気持ちを新たに、1年築きあげたものを大切に考え、2年目のスタートをきりたい。

記 古川

### 結婚して

そうなんです 僕 渡辺和弘は西暦1988年2月28日に結婚したのです。同級生の女の子、加藤まゆみさんより先に結婚したためまゆみさんをあせらせることになっています。まゆみさんが妙な男性をつかまぬよう、皆様で良い男性をさがしてあげてください。ただしまゆみさんは強くて怖いんです。

冗談はさておき、僕の嫁さんは同級生で、なんと中学校時代から現在に至るまで約10年間ずっと僕のファンでいた人です、そうです、ぼくを長年愛し続けてくれた彼女が、現在、僕の嫁さんになりました。もちろん僕も好きだったんですけどネ・・・♡なんて新婚生活に入り、今年の抱負を守りカットビで鴨川（新居・といってもアパート）まで帰って御飯をいっしょに食べてお風呂に入って寝ちゃいます・・・♡。

本当に結婚ていいですね。

記 渡辺

### 1年を経て

月日の経つのははやいもので、もう1年が過ぎようとしています。安房郡市で初の福祉施設に、転職の戸惑いと抱負一杯のうちに、成人式を迎えた気持ちで胸をはずませたのが昨日のようです。

中里の家の庭に目を向けますと、垣根用に果樹まき、正門には、さつきとつつじ、玄関奥に紫山、中庭は芝生、そして西側に館山RC寄贈のそめいよしの等と段々に植樹されました。今年は花壇を作り水仙等の草花を植え、「家」の内外共にきれいにしていきたいと思えます。

なお、浄化槽、ボイラー関係、電気関係の点検整備の日程も決まりました。

記 里島

### 中里家のお姉さんです

暑さ寒さも彼岸まで、とはよく言ったものでめっきり春めいてきた今日この頃です。中里の家が開所してもう1周年が来るなんてとても信じられない気持ちです。

私事ではございますが昨年は長男が幼稚園入園、長女が保育園入園、そして私が5年ぶりに、それもまったく新しい施設という分野でした。とてもたくさんの出来事が私のまわりではじまりました。保護者の皆様には、大事なお子様を手放すということは、とても勇気が必要だったと思えます家庭にポッカリと穴があいてしまうんですもの。お子様を私たちに預けてくださったということは、とても有難い事だと思っております。実家の父が私がいなくなったということによっておりました。

「人間貧乏が一番さみしい」と。でも私たちはお子様達の姉であり、兄であり、そして親であると信じておりますので時には意見があわない場もあるかとは存じますが、その時は皆様と話し合いながらよりよい施設にしたいとおもいます。

先日のボーリング大会楽しかったですね63年度も62年度にもましてたくさんの行事計画があります。開所2年目を迎えてヨチヨチ歩きはじめた中里家の50人の子供達です。職員1人として私も負けずに頑張りたいと思えます。

記 岡本

### 僕のマイカーサニーの新車

いつもエンジンがかかるかなと心配で乗っていたスズキのキャリー。「よし、3年後には買替えよう」と思っていたが意外と早く動かなくなってしまった。そこで思い切って買った新車はトラッドサニー。ジャンジャン ついにきました。やはり新車はいい。エンジンはすぐかかるし走りも静か。そこで「早く隣に乗る素敵な人を見つけたいとね」というまわりからの声。自分も新車に乗ってみてそう思うのだが・・・う～むこれだけは難しい問題だ。

記 鎌田よ